

2019年度第1学期「学生による学期末の授業アンケート」の実施概要

1. 実施目的・方針

- ① 学生が学期ごとの自身の授業に対する取り組みを振り返りながら記録することによって学修活動を伸長・改善するための学修支援の一環として実施する。
- ② 学生の回答結果を用いて、教員が個々の授業改善活動に活用し、学部等の組織が集計結果を組織的な教育改善活動に活用するための教育改善活動支援の一環として実施する。
- ③ 「学生による学期末の授業アンケート」は、成績評価などの学生個人に関わる評価や、授業評価などの教員個人に関わる評価のために実施・活用しない。

2. 実施期間（※各開講責任組織で検討）

2019年7月8日（月）～8月5日（月） ※実施期間を全学統一とする。

3. 実施・集計方法

各開講責任組織の実施対象科目単位（項目4参照）で設問を設定し、学生がmanaba course上で回答する。

回答結果は、学生には自身の回答のみが表示され、教員には自身の担当科目の回答結果（学生の個人名は表示されない）が表示される。

集計は、全学及び開講責任組織（学部・学科・専攻等单位）ごとに行い、結果を報告書にまとめ学修支援・教育開発センター会議構成員に配付するほか、学修支援・教育開発センターのホームページに掲載する（学内者のみアクセス可）。

4. 実施対象科目単位の設定（※各開講責任組織で検討）

以下①～③の開講責任組織の区分ごとに実施対象科目単位を設定する。

- ① 学部が開講責任組織となっている科目（専攻科目・諸課程科目）
- ② 教養教育センター・教学部・教職センターが開講責任組織となっている科目
（教養教育科目（教養教育センター）・学部共通コース科目（教学部）・諸課程科目（教職センター））
- ③ 研究科が開講責任組織となっている科目

※実施に際しては、原則、講義科目は実施することとし、演習・実習等の科目の実施や研究科科目の実施については、各開講責任組織で判断する。

5. 設問内容（※各開講責任組織で検討（全学共通・教員個人設定項目を除く））

設問は「全学共通項目」「開講責任組織設定項目」「教員個人設定項目」で構成する。

【全学共通項目】

全学として把握しておくべき項目として、出席状況や学習時間に関する項目（選択式）、学習成果やカリキュラムポリシーと個々の授業の関係を検証するための項目（選択式）、学生が自身の学修を記録するための項目（記述式）の4問を設定する。

Q1 この授業を何回「欠席」しましたか。

- ① 欠席0回 ② 1回欠席 ③ 2～3回欠席 ④ 4～5回欠席
⑤ 6～7回欠席 ⑥ 8～9回欠席 ⑦ 10回以上欠席

Q2 1回の授業に対して、平均してどのくらい授業外学習（自主学習・課題学習・予習・復習など）を行いましたか。

- ① 4時間以上 ② 3時間以上4時間未満 ③ 2時間以上3時間未満
④ 1時間以上2時間未満 ⑤ 30分以上1時間未満 ⑥ 30分未満 ⑦ しなかった

Q3 この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか。

- ① S（90～100%達成） ② A（80～89%達成） ③ B（70～79%達成）
④ C（60～69%達成） ⑤ D（59%以下）

Q4 この授業に対する取り組みを振り返り、記入してください。（記述式）

【開講責任組織設定項目】（各開講責任組織で設定）

開講責任組織の実施対象科目単位に基づき、必要な場合に設定することができる。全学共通項目で内容的に充足する場合は設定する必要はない。

最大3問（選択式2問〔選択肢は最大7つまで〕、記述式1問）まで設定することが可能である。

但し、外部評価等の関係上、上記上限を超えて設定する必要がある場合は、この限りではない。

Q5（選択式） 各開講責任組織で設定

Q6（選択式） 各開講責任組織で設定

Q7（記述式） 各開講責任組織で設定

【教員個人設定項目】

最大2問（選択式1問〔選択肢は最大7つまで〕、記述式1問）まで設定することが可能である。

（学生の回答画面には以下のように表示される。）

※設定する場合は、授業アンケート実施期間前に、受講生に対して設問を周知（アンケート内容の配布や当該科目のmanaba course上での指示等）する必要がある。

Q8 「担当教員から事前に指示があった場合は回答してください」（選択式）

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

Q9 「担当教員から事前に指示があった場合は記入してください」（記述式）

以上